

新たな移動手段の判断を行うのはいつか

石崎 誠子議員

具体的な判断までには至っていない

総務部長



津島市 Tsushima City

グリーンスローモビリティ実証実験

「グリーンスローモビリティとは、電気自動車を活用した時速20km未満で公道を走る4人乗り以上の低速移動手段です。」

【運行期間】 2024年11月9日(土)～10日(日)、11月21日(木)～24日(日)

【運行時間】 10時～12時(午前便)、および13時30分～16時(午後便)

【車両】

- ①小型カート (乗車人数2名、貸出運行)
- ②ミニバス (乗車人数6名、23～24日のみ運行)

【乗車方法】 料金は無料、「津島駅前」と「津島神社」で乗車券配布
乗車券は、当日のみ使用可能で、1人2枚まで配布。午前便と午後便の運行開始15分前(9時45分、13時15分)に、津島駅前、津島神社にて、向乗車で配布予定

【走行ルート・時刻表】

時刻表	駅間	所要時間
10時	駅前→神社	15分、45分
11時	神社→駅前	15分、45分
12時	駅前→神社	15分、45分
13時	駅前→神社	15分、45分
14時	神社→駅前	15分、45分
15時	駅前→神社	15分、45分

最新情報や詳細な時刻表は、ホームページからご覧ください。

▲津島市で“新たな移動手段”実証実験

問 巡回バス改定時に新たに加わるバス停は。

答 令和7年4月改定時

における新設の停留所は、仮称で、道楽の郷、永和台北公園、六川北の3カ所を予定。

問 巡回バス運行検討委員会では、唯一学識経験者であった委員長が任期の途中で不在となり、今期の委員会が閉じられたが、委員に対する先進事例の紹介や法的助言が適

切に行われたか。事務局としての運営は適切だったのか。

答 学識経験者の役割が重要であることは理解しているが、先進事例の情報収集を含め、委員会の運営は適切に進められたと考えている。

問 巡回バス運行検討委員会から、新たな移動手段の検討が求められており、令和元年度の提言書にも同様の要望があった

が、これまで事務局は、どのような事例を研究してきたのか。

答 他自治体におけるデマンド交通等の導入事例について情報収集を行っている。

問 ペットと共に避難所へ避難する同行避難の推進は、飼い主が躊躇なく避難できる体制を整える事となり、飼い主の生命を守る事になる。住民の安全を確保するために、指定避難所へのペット同行避難の受入れに関する方針を示す考えは。

答 県が策定予定のガイドラインを参考に、市としての支援の方針を示し、飼い主や実際に避難所の運営を行う地元自治会、自主防災会に理解してもらう必要がある。

飼い主の生命を守るために

書の内容について、各部署の関係課に情報共有をしている。

問 生活の移動手段の確保に関わる、総務課、高齢福祉課、社会福祉課、市民協働課、都市計画課等が、それぞれの課題を補い合える移動手段の在り方を検討する必要があるが、各部署の横断的な取り組み状況は。

答 巡回バス運行検討委員会より提出された提言